

特集テーマ：

建設業界を襲う「2024年問題」 解決策は現場データの利活用

■特集期間

2023年11月27日（月）～ 2024年1月26日（金）

■お申込み締切

プラチナプラン：2023年10月13日（金）

ゴールド／シルバープラン：2023年10月20日（金）

特集テーマ：建設業界を襲う「2024年問題」 解決策は現場データの利活用

建設業界の2024年問題は、いまや広く知られていますが、みなさん、よくある建前だけの法規制と認識していないでしょうか？

しかし、軽視するのは甘い考えで、労働時間の上限規制を守らない場合には、「6カ月以下の懲役」または「30万円以下の罰金」が科せられ、悪質なケースでは、厚生労働省に企業名が公表されてしまいます。企業イメージが損なわれれば、事業継続が困難になり、人手不足の中で倒産のリスクはさらに高まるでしょう。

そこで、本特集では2024年問題の解決につながる、建設ICTの資機材やサービスを紹介します。なかでも、労働時間の削減でもっとも有効となるのが、現場でさまざまな形で存在するデータの利活用が可能にする移動のムダなどの削減です。最近では手軽な360度カメラや3Dスキャナー、アプリも登場し、現場の遠隔管理／監理や業務効率化につながる3D化も容易になってきています。

ぜひこの機会に貴社の資機材／ツール／サービスの PR にご活用いただけますと幸いです。

キーワード

レーザースキャナー、360度カメラ、ハンディスキャナー、ドローン測量、各種3Dデータソフトウェア、点群データ活用、現場管理アプリ、勤怠管理システム、労務管理システムなど

＼ BUILT×建設ITワールド コラボ企画 ／

建設業×IT専門メディアであるBUILTと建設ITワールドの建設業専門メディア同士によるコラボ企画になります。建築・建設業の専門性・関心の高い読者に訴求できる唯一無二の企画となっています。



専門性の高いコンテンツ

建設ITジャーナリスト家入様による講演動画や、特集のテーマについての編集部による解説や、関連する編集記事を掲載した特設ページをオープンいたします。



専門性・関心の高い読者に誘導

メディア上からのバナー広告枠を利用し、本特集への誘導をかけます。BUILTのトップページ・記事ページからの誘導に加え、建設ITワールドからも誘導いたしますので、情報収集に熱心な読者にアプローチすることができます。



お得なプラン

本特集ならではの費用対効果を見込めるお得なプランを用意しております。PRする絶好の場として、本特集をご活用いただけますと幸いです。

講演タイトル：2024年問題の解決は現場情報のデジタル化から

建設業では、時間外労働の上限規制が強化される「2024年問題」をいかにして解決するかが求められています。その特効薬と言えるのが、現場や施工管理のデジタルデータ化です。あらゆる現場情報をデータとして活用できれば、「移動のムダ」「手作業のムダ」などが大幅に減り、労働時間の短縮につながります。

本講演動画では、現場データをクラウドやBIM/CIM、AIなどで活用し、2024年問題解決と働き方改革を同時に実現する戦略を豊富な事例を交えて解説します。



家入 龍太 氏
建設ITジャーナリスト

1959年広島県生まれ。1982年京都大学工学部土木工学科卒業。1984年ジョージア工科大学大学院工学修士課程修了（Engineering Science & Mechanics専攻）。1985年京都大学大学院修士課程修了（土木工学専攻）。1985年に日本鋼管（現JFEエンジニアリング）入社後、1989年には日経BP社へ入社。日経コンストラクション副編集長、ケンブラッツ編集長、事業部次長、建設局広告部企画編集委員などを歴任し、2009年日経BP円満退社。2010年のイエイリ・ラボ創設を経て、2020年には建設ITワールドを設立。現在に至る。

スポンサープラン

- Point 1 スペシャル動画コンテンツで動画を獲得
- Point 2 両メディアからの誘導
- Point 3 タイアップ記事広告制作付

スポンサープラン

※料金は税別、グロスです。
※プランのカスタマイズも承ります。担当営業までご相談下さい。

プラチナプラン

¥ 2,500,000

コンテンツ制作ご要望のお客様向け

ゴールドプラン

¥ 1,500,000

コンテンツをお持ちのお客様向け

シルバープラン

¥ 800,000

自社コンテンツがないお客様向け

内訳①:スペシャル講演動画 閲覧者リード

- ・協賛全社に同一リードを提供
- ・個別パーミッション設定不可

120件保証

120件保証

120件保証

内訳②:貴社コンテンツ閲覧者リード

- ・各プランに記載のコンテンツをご用意下さい
- ・コンテンツごとの獲得リード数の指定はできません

180件保証

タイアップ記事制作1本+お手持ちのWP2本

100件保証

お手持ちのWP2本

—

ご提供リード合計数

- ・スペシャル講演動画閲覧者リードと、貴社コンテンツ閲覧者リード間の重複はありません
- ・セグメント条件の設定はありません

300件保証

220件保証

120件保証

【お申込み締め切り】 プラチナプラン：10月13日（金） ゴールド／シルバープラン：10月20日（金）

※ゴールド1社以上を含む2社以上のご協賛で本企画は実施となります。

ティアアップ記事 特別特典

BUILTトップページ／記事ページから、 BUILT読者を貴社ティアアップ記事へ直接誘導

BUILT TOPページ

BUILT 記事ページ

誘導枠



貴社コンテンツイメージ

誘導枠

リード獲得用コンテンツ制作

編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事を制作いたします。
コンテンツの二次利用も可能です ※一部条件がございます

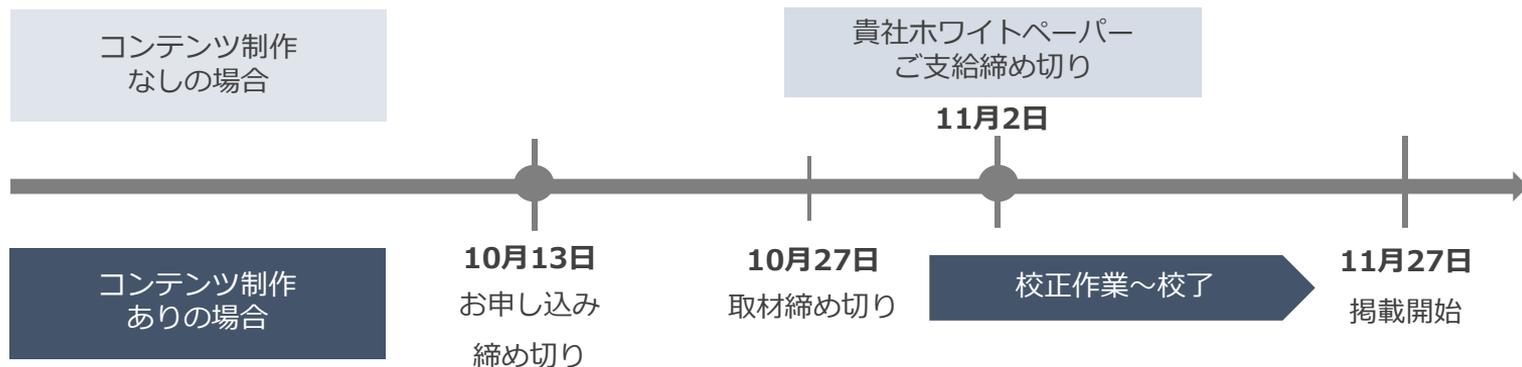
- ・ 編集タイアップについて
 - 編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事広告です
 - 冒頭部分はだれでも閲覧でき、「続きを読む」でリードを獲得します
- ・ コンテンツ仕様
 - ページ数：1html
 - 文字数：4,000文字程度（うち、500文字程度が公開ページ掲載分）
 - 図版点数：2点まで（写真/イメージ図版主体）
 - 企画協力：あり
 - 取材有無：あり
- ・ 備考
 - 取材から掲載までの期間は約17営業日となります
 - 原稿の校正はテキスト原稿、HTMLの各1回ずつを想定しており、校正の回数に応じて、公開までの日数は適宜変動いたします
 - 記事広告内に掲載するイメージ図版は貴社にてご用意下さい
 - 終了後も一部を除きコンテンツは掲載され続けます
 - タイアップ記事のPV、UBのレポートはございません
 - 遠方での取材や有識者のアサイン、特別な制作費（イラストなど）が発生する場合は、別途追加費用を申し受けます



タイアップ記事制作イメージ
(実際のデザインとは異なる場合がございます)

スケジュール

コンテンツ制作の有無によって、お申し込み締め切り日をはじめとした各種スケジュールが異なります。ご注意ください。



お申込みギリギリの場合、取材候補日は事前にご連絡お願い致します。
10月27日までに取材を行えない場合、11月27日の掲載に間に合わない可能性がありますので、ご了承ください。

ピックアップテーマ 実績

特集
実績



建設現場に変革を起こす“真のDX”

<https://techfactory.itmedia.co.jp/tf/special/tf211001/index.html>

新型コロナウイルス感染症は、期せずして建設業界の働き方にも大きな影響を与えました。本特集ではこうしたコロナ禍における、ニューノーマルな建設現場の実現に不可欠なデジタルツールにフォーカス。建設現場のデジタルシフトを加速させるテクノロジーの活用事例、使用方法などを紹介します。



DXで実現する安心・安全な建設現場～デジタル技術で建設現場を見える化～

<https://techfactory.itmedia.co.jp/tf/special/tf220103/index.html>

建設現場では、多発する重篤災害の防止、近年増加している熱中症への対策、さらにはコロナ禍での感染予防など、IT/IoTを活用した現場環境の見える化と改善が必要不可欠です。本特集では、安心・安全な建設現場を実現するうえで、有効なテクノロジーや具体的な取り組み・事例を紹介します。

課題解決に向けて積極的に情報収集をする

建築・建設関連業界の 役職者が中心読者

71%

役職者

33%

年商規模
500億円以上

67%

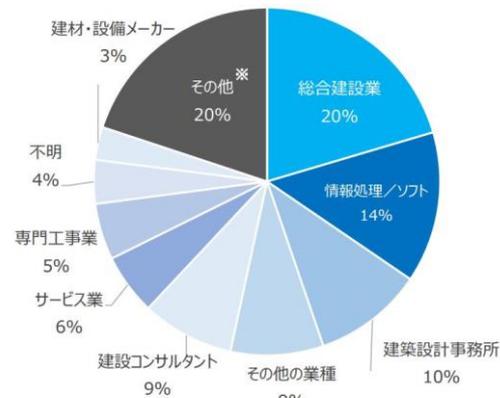
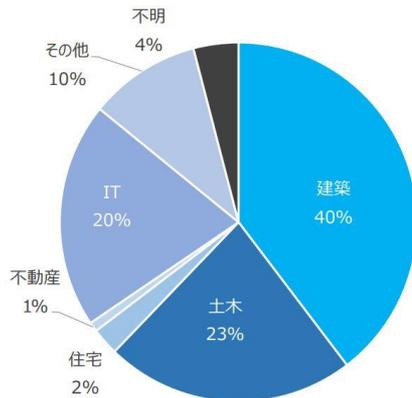
建設関連業

経営者・役員クラス	9.7%	1兆円以上	8.7%	総合建設会社	28.1%
部長クラス	19.9%	1000億円～1兆円未満	18.9%	設備機器メーカー	8.7%
課長クラス	23.5%	500億円～1000億円未満	5.6%	建設コンサルタント	8.2%
係長・主任クラス	17.9%	500億円未満	66.8%	専門建設会社	13.3%
その他	28.6%			その他建設・建築関連	19.4%



人材不足や技能伝承といった
業界の抱える課題に取り組むべく
業界の最新情報やITトレンドにアンテナを張った
情報収集に積極的な方々に愛読されています。

IT活用による建設産業の成長戦略を追求する 建設業向け専門メディア



PV数：20万PV/月

メルマガ通数：約4,200通